

華岡青洲 医案③

竹原元兵衛、年三十余、水病を患う。脇腹鞭紀州妙寺村、卯兵衛が娘、年十八歳。平素癩疾、後淋疾を発し、淋瀝、疾痛、劇して昼夜安眠すること能わず。衆医数方を投ずれども寸効なし。故に來たりて治を乞う。

之を診するに、淋瀝、疼痛甚だしくして、小水中に黄白色なる者交り出だす。主方猪苓湯加木通鹿藜二十四貼を投じて全治せり。師曰く、一方、苗之陰乾・唐キビ、右二味を煎じて茶の替わりに用いて効ありというなり。